※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１６

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	生活文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎「自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	生活学　Navi（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習した知識や技術を実生活に生かして、各自の生活課題を解決し、よりよい生活を工夫する能力を定着させる。家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

２　学習の到達目標

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。家庭や地域及び社会における生活の中から問題をみいだして課題を設定し、解決策を構想・実践・考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。様々な人々と協働し、地域社会に参画するとともに、自分や家庭・地域の生活を主体的に創造する実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を営むために必要な家族、家庭、衣食住。消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を通して生活の中に課題を設定し、解決策を構想、実践、評価、考察することにより、課題を論理的に解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組み、自分や家庭・地域の生活を創造し、実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	食生活	食品の安全	a:食の安全、安心について、学習したことを意欲的に食生活に取り入れようとしている。 b:調理の基本を理解し、実際の調理実習で生かしている。 c:食の安全や衛生、配膳や食事のマナーについて理解している。		・ワークシート、ノート、調理実習2回	・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	食生活	献立づくりと調理	a：様々な食品に関心を持ち、その特性を意欲的に学び、実際の食生活に生かす態度を身につけようとしている。 ｂ：食生活の基本は栄養のバランスをとることであることを理解し、栄養素の働き、食事摂取 食品群別摂取量をもとに考えて自分や家族の食生活を見直している。 C：環境に配慮した食品の購入、料理、保存などについて理解している。	・定期考査	・ワークシート 、ノート	・ワークシート
2学期	衣生活	衣生活を自ら管理する	a:衣服の成り立ちと性質の学習をとおして、衣服に関心を持ち、衣服の購入、着用、処分を見直そうとしている。 b:資源・環境に配慮した衣服の再利用や処分について考え、行動できる。 c:資源の有効活用の観点から、購入から廃棄までを考えた衣服計画の重要性について理解している。		ワークシート、ノート	・ワークシート
	保育	子どもの成長のようす	a：保育における親と社会の果たす役割について考えようとしている。 b:親の役割と保育、子どもの育つ環境を深め、子どもにとって良い環境を判断できる。 c:親の役割、子どもにとって健全に成長できる環境などを理解している。	・定期考査	・ワークシート、ノート、調理実習1回	・ワークシート
3学期	消費生活	自立した消費者とは？	a:自らの消費生活を見つめ、何か求められているか考えようとしている。 b:消費者の権利やその在り方、消費者保護に関する施策について考えている。 c:消費生活の現状と課題や消費者の役割と責任について理解している。		・ワークシート、ノー	・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	住居	住まいの役割について	a:住まいの役割や住空間に関心を持ち、自分の住居に関する知識を増やそうとしている。 b:暮らしと住居に関わりついて、自らの自立と関連づけて考えている。 ｃ;住居に関する基礎的基本的な知識と技術を理解している	・定期考査	・ワークシート、ノート、調理実習１回	・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度